

保護者アンケート集計分析結果

質問文	▲重要度	▲実現度	▲ニーズ度
子どもに基礎学力が身についていること	6.9	4.8	22.0
子どもにとって授業がよくわかること	6.9	4.9	21.4
子どもに学年×10分の家庭学習の習慣が身についていること	6.1	4.0	24.4
100冊読書をめざし、子どもに読書をする習慣が身についていること	5.8	3.6	25.5
子どもが何事にも粘り強く取り組めること	6.8	4.3	25.2
子どもが「おはよう」などのあいさつや「ありがとう」と進んで言えること	6.9	4.8	22.1
子どもが楽しく学校に通うこと	6.9	5.8	15.2
子どもが早寝・早起き・朝ごはんの習慣を身に付けていること	6.8	4.9	21.1
子どもが温かい仲間意識を持ち、思いやりや親切な心を育むこと	6.8	5.3	18.4
学校が子ども一人ひとりを大切にした取組を行っていること	6.6	5.2	18.5
学校が教育方針や教育活動の状況をわかりやすく伝えること	6.1	5.0	18.3
学校が、家庭・地域と連携し、「地域総ぐるみ」の教育を推進すること	5.9	5.0	17.7
子どもが地域行事やPTA行事に参加すること	5.3	4.1	20.7
保護者が学校行事(参観・懇談など)に参加すること	5.7	4.7	18.8
PTA活動が積極的に行われること	5.0	4.7	16.5

教職員アンケート集計分析結果

質問文	▲重要度	▲実現度	▲ニーズ度
子どもに基礎的な学力が身についていること	6.8	3.5	30.6
子どもにとって授業がよくわかること	6.9	3.9	24.6
子どもに学年×10分の家庭学習の習慣が身についていること	6.2	3.1	30.4
100冊読書をめざし、子どもに読書をする習慣が身についていること	5.8	3.4	26.7
学習効果を上げるため、教師が指導法の改善をすること	6.5	3.1	31.9
子どもが「おはよう」などのあいさつや「ありがとう」と進んで言えること	7.0	4.2	26.6
子どもが楽しく学校に通うこと	6.9	4.9	21.4
子どもが早寝・早起き・朝ごはんの習慣を身に付けていること	6.8	3.9	27.9
子どもが温かい仲間意識を持ち、思いやりや親切な心を育むこと	6.9	4.0	27.6
学校が子どもの人権を大切にした教育活動を行うこと	6.8	4.0	27.2
学校が教育方針や教育活動の状況をわかりやすく伝えること	6.1	4.5	21.4
学校が、家庭・地域と連携し、「地域総ぐるみ」の教育を推進すること	5.9	4.2	22.4
子どもが地域行事やPTA行事に参加すること	5.7	3.5	25.7
保護者が学校行事(参観・懇談など)に参加すること	6.1	4.8	19.5
PTA活動が積極的に行われること	6.3	5.0	18.9

<アンケート形式についての説明>

今年度の保護者等アンケートですが、21年度から始めましたマークシート方式による分析ソフトを活用した方法で行っています。主なねらいは、前期にもお知らせしましたが、「学校教育活動全般について、取り組むべき課題を明らかにすること」です。そこで、この形式の見方について、再度ご説明いたします。

- ①各質問項目の回答は、保護者、教職員共に「重要度」「実現度」の二軸とし、児童用には、「実現度」のみにしました。
- ②項目の回答については下記の得点となります。

●重要度 とても重要・・・7点 やや重要・・・5点
 あまり重要でない・・・3点 重要でない・・・1点
・全員が「とても重要」と回答した場合は、重要度平均は7点になります。

●実現度 よくできている・・・7点 できている・・・5点
 あまりできていない・・・3点 できていない・・・1点
 分からない・・・(計算から除外)
・重要度と実現度をもとにして、ニーズ度を計算して求めます。

●ニーズ度 ニーズ度＝重要度×(8－実現度)
・ニーズ度の最高ポイントは49で最低ポイントは1です。
 ニーズ度のポイントが「25」を超える項目か、あるいはその値に近い項目が、学校として取り組むべき優先課題となります。
・ニーズ度が高い項目は、「重要度」が平均値より高く、かつ「実現度」が平均値より低い項目となります。

〔保護者・教職員アンケート結果から〕

今回のアンケートで教職員のニーズ度が一番高かったのは「学習効果を上げるため、教師が指導法の改善をすること」で、その項目に関連した「子どもに基礎的な学力が身についていること」「子どもに学年×10分の家庭学習の習慣が身についていること」という項目のニーズ度が高くなっています。保護者の方も「子どもに学年×10分の家庭学習の習慣が身についていること」「100冊読書をめざし、子どもに読書をする習慣が身についていること」という項目のニーズ度が高く、前期同様、子どもに授業の内容がよく分かり、基本的な学力をはじめとした学力を身につけさせたいと考えておられることが分かりました。PTAのご協力もあり、今年度も、選書会で選ばれた本をたくさん購入し、図書館や学級文庫の充実、整備を進めているところですが、読書の大切さについては、保護者の方も教職員と同じ思いをもっておられるので、引き続き計画的に、図書館教育に力を入れていきたいと思えます。

また、毎回、保護者の方が優先課題としてあげておられるのが「子どもが何事にも粘り強く取り組めること」で、今回も最後まで遣り通す力を付けさせたいと思っておられることが分かりました。

そして、学力向上と深い関係のある「早寝・早起き・朝ごはん」についてですが、とても大事なことですので、家庭と連携して進めて行きたいと思えます。

いじめに関するニュースをよく目にする昨今において、「子どもが楽しく学校に通うこと」という項目は教職員、保護者とも重要と考える事はもちろんの事で、その基盤となる「学校が子どもの人権を大切にされた教育活動を行うこと」は教職員全員が「とても重要」と答えており、実現度の数値も上げていかなければならないと感じています。

低学年振り返りカード集計結果 (%)

質 問 文	できている	どちらでもない	できていない	わからない	無回答
じゆぎょうちゆう, べんきょうがよくわかること	79	10	6	5	0
じゆぎょうちゆう, しっかりはなしがきけること	70	13	11	6	0
じゆぎょうちゆう, しっかりはっぴょうすること	75	7	14	4	2
さいごまであきらめず, がくしゅうにとりくむこと	85	4	6	5	0
まいにちきまったじかんに, いえでべんきょうすること	58	11	28	2	1
100さつほんをよむこと	60	5	32	3	0
つぎのひの, がくしゅうのじゆんびをわすれずにすること	70	13	15	2	0
すすんで「おはよう」などのあいさつや「ありがとう」がいえること	82	9	6	3	0
はやね・はやおきなどきめられたせいかつをすること	56	15	24	5	0
がっこうやがっきゅうのきまりややくそくをまもること	79	8	9	4	1
がっこうやがっきゅうでのせいかつがたのしいこと	87	6	3	4	1
ともだちとなかよくすること	86	6	6	2	2
PTAやちいきのぎょうじによくさんかすること	39	11	40	8	1
がっこうであったことをいえではなしすること	68	13	14	4	1

高学年振り返りカード集計結果 (%)

質 問 文	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	わからない	無回答
授業中, 学習がよくわかること	31	53	11	3	2	0
授業中, しっかり話が聞けること	35	46	12	4	1	2
授業中, しっかり発表すること	23	33	25	17	1	1
最後まであきらめず, 学習に取り組むこと	31	47	15	5	1	1
毎日決まった時間に家庭学習をすること	22	32	26	16	2	2
家で予習・復習・宿題をすること	42	38	13	6	1	0
100冊読書をめざし, 進んで本を読むこと	23	33	22	20	2	0
次の日の学習の準備を忘れずにすること	48	35	12	2	1	2
進んで「おはよう」などのあいさつや「ありがとう」が言えること	60	27	9	3	1	0
早寝・早起きなど決められた生活をすること	36	42	14	8	0	0
学校や学級のきまりや約束が守れること	39	46	12	1	1	1
学校や学級での生活が楽しいこと	56	27	7	5	4	1
友達と仲良くすること	62	31	4	3	0	0
PTAや地域の行事に進んで参加すること	20	30	27	16	6	1
学校であったことを家で話すこと	54	23	12	9	1	1

〔児童アンケート結果から〕

低学年，高学年共に，「**学校や学級での生活が楽しいこと**」のパーセントが前年度より上回るアンケート結果となったのは，何よりもうれしいことでした。

ただ，4月より学校が力を入れている「**あいさつをすること**」に関しては，低学年はやや上回った程度で，高学年にいたっては前年度より低い結果でした。保護者や地域の方々に「よくあいさつをする子ども達だ」とほめていただいているのですが，子ども自身の意識としては，あまりあいさつや感謝の言葉が言えていないと感じていることが分かりました。小中連携で，児童会が「**いいことばの日**」に取り組むことになり，「**あいさつをすること**」も含めて，今後も学校ぐるみで力を入れていきたいと思ひます。

さて，項目別に見ますと，学習に関する項目については，「**授業中，しっかり話が聞けること，学習がよく分かること，最後まであきらめず学習に取り組むこと**」では，低学年，高学年ともに上向き傾向にあり，児童の学習に対する意欲が高まってきたことが分かります。その反面「**授業中しっかり発表すること**」に関してはかなり下がっており，受け身の状態で授業を受けている子どもが多く，教職員アンケートでも，もっともニーズ度が高かった「**指導方法の改善**」に努力をしなければならぬと実感しました。「**100冊本をよむこと**」に関しては，昨年から今年と図書環境づくりに力を入れてきたところですが，低・高学年ともにあまり伸びず，図書館のビフォーアフターと同時に，学級文庫の充実に力を入れて行こうと考えています。学校生活の項目「**きまりや約束を守ること**」「**友達と仲良くすること**」では，「**楽しく学校生活を送ること**」と同様に，低学年，高学年共に伸びが見られました。学校生活において，とても大事な部分ですので，子どもが落ち着いて学習ができ，子どもの居場所がある学習環境を作ることにより，これらの項目の数値も上げていきたいと思ひます。

家庭学習「**家で予習・復習・宿題をする**」や「**早寝・早起きなど決められた生活をする**」の項目は，前年度より上回ったのですが，「**毎日決まった時間に家庭学習をする**」は下回り，放課後学び教室を活用すると共に，家庭と連携して取組を継続し，よい結果を出すことができると思ひます。

「**P T Aや地域の行事に進んで参加する**」という項目は，以前から現実度があまり高いパーセントではなかったのですが，前年度の結果に比べて高学年が更に低くなったという残念な結果がでました。教職員の地域行事参加を増やすと共に，児童への呼びかけにも力を入れていきたいです。

「**学校であったことを家で話すこと**」は低学年，高学年共に，前年度を上回りました。今後，より多くの児童が家の方とコミュニケーションをとられることを願っています。

最後に，「**わからない**」や「**無回答**」の数値が下がった事は喜ばしいことです。このアンケートを継続することにより，子ども自信が自分を厳しい目で振り返り，自分を見つめ直すきっかけになっているのではないかと思ひます。

以上，毎回のことですが，「**あまりできていない**」「**できていない**」と答えた児童がいるという事実をしっかりと受け止め，子どもの実態を把握し，改善に努めたいと思ひます。ご支援，ご協力よろしくお願ひ致します。